

長谷川デザインの住宅設計業務と成果・設計価値基準

業務のワークフロー

成果としての価値づくり

1. 基本設計業務

外的な条件の整理

敷地の問題解決／土地の有効利用
地盤分析、日照、通風、音、プライバシー



内的な条件の整理

ライフスタイル、ライフサイクル
趣味・趣向
自分の暮らしに適った使用感
美的性能の向上

2. 詳細設計業務

性能向上設計

耐久性、耐用性、耐震性



美的性能の計画

素材、フォルム、プロポーション、光の効果
機器選択

使用感の快適性、機能性の向上

温熱環境性能／空気環境・腐朽・カビ

3. 設計監理業務

工事価格の査定

原価・利益率分析
予算の効果的配分
優先順位のおぶりだし

性能設計の実現

素材性能のチェック
耐久性能にかかわる重要ポイントのチェック
構造性能のチェック
防水・耐水性の担保

開口部の取付手法／気密上のウイークポイント指導
空気環境性能づくり／換気・通気促進手法



クライアントにとって図面で理解しづらい箇所の現物確認、空間体験サポート
カラーリング、素材の組み合わせ、機器アクセサリ等の比較検討

資産的価値の向上と有効活用

モノとしての価値を高める

土地力の活用
耐久性／丈夫さと持続力
耐用性／永く使える
省エネであること
ライフサイクルコストが効果的かどうか



感性的価値の創出

こころを豊かにする価値を創る

気持ちのいいこと
好きなモノ、コト
自分に合っているかどうか
偏っておらず、長く愛着がもてる

※価値判断はコミュニケーションと対話によって見いだします

身体的価値の向上促進

健康に快適に暮らせる価値

パッシブが基本
機械設備に頼りすぎず快適であること
使用感に異和のないこと
健康的かどうか
温度環境に無理がないか